

平成19年度 博士課程学位論文要旨

学位論文題名 (注: 学位論文題名が欧文の場合は和訳をつけること)

作業療法部門のリスクマネジメント評価

～適用可能性の検討～

学位の種類: 博士 (保健科学)

保健科学研究科 保健科学専攻 地域障害者支援学分野

研究生番号 201

氏名: 會田 玉美

(指導教員名: 山田 孝)

【はじめに】作業療法部門 (OT 部門) では, 作業療法士 (OTR) の行うリスク管理は1人ひとりの疾患や症状にあわせて, 患者個人に対する治療技術のひとつであるという概念を中心に行われてきた。筆者らは OT 部門の RM を一人ひとりの OTR の知識や技術, 能力によって行っている患者の疾患に対するリスク管理とは異なり, OT 部門の適正な運営を目標として取り組むべき医療安全のためのマニュアルや約束事など, OTR の個人的能力に頼らないシステムの整備であると考えた。先行研究において 45 名の OT 部門管理者のコンセンサスに基づき「施設・備品」9 項目, 「患者の確認」2 項目, 「情報の共有」5 項目, 「緊急時の対応」7 項目, 「感染症対策」4 項目, 「医療安全教育」5 項目の OT 部門の RM 自己評価項目計 32 項目を作成した。

【目的】本研究の目的は, これらの RM32 項目を用いた OT 部門の RM 評価の信頼性の検討を行い, OT 部門における自己評価としての適用可能性を検討することである。

【方法】RM32 項目を 4 段階の評定尺度に作成し, 17 病院 89 名の OTR に対して所属する OT 部門での RM 実施状況の調査を行った。項目毎の平均値, Cronbach α , 再テスト法による 1 回目調査と 2 回目調査得点間の相関係数, 及び 1 回目調査と 2 回目調査の平均値の Wilcoxon の符号付順位和検定を求めた。

【結果】1 回目調査 89 名の RM32 項目の Cronbach α は 0.91 であり, また 82 名の再テスト法の結果では全項目に相関がみられ, 32 項目全体の 1 回目と 2 回目の平均得点の相関係数は .66 ($p < .01$) であった。また, 1 回目調査と 2 回目調査の平均値の Wilcoxon の符号付順位和検定では, 検定統計量 $Z = -459$, 有意確率 $p = .000$ (有意水準 $p = .05$) にて有意な差が認められた。

【考察】本 RM 評価は一定の信頼性を保証できる結果を得られ, OT 部門の RM の実施状況の尺度として使用できるとともに, OTR 一人ひとりの RM に対する認識の向上に役立つことが示唆された。すなわち本 RM 評価は OT 部門の医療安全向上のために役立つと考えられる。

【今後の課題】今後更に実際のリスクの事例と OTR の行動を対比させて, OTR 個人の能力の限界が事故につながることを防止するためのシステム作りが課題である。現状ではその過程で OTR の部門としての RM に対する関心を向上させることが OT 部門の安全な運営につながると考えられる。